

1 日常の学習状況について

- (1) 体育委員を中心に集団行動や準備運動を行うなど日頃の授業から積極的に取り組んでいる。
- (2) 意欲的に授業に取り組み、学び合おうとする様子がみられる。
- (3) 周りへの声掛けや、励ましの声が自然と出る温かさを持っている。
- (4) 水泳など苦手な単元に対しての取り組む姿勢や意欲に差がみられる。

2 体力調査・アンケート等の結果を踏まえて

- (1) ラジオ体操や補強運動を帯で行い、柔軟性、筋力、筋持久力等の強化を図る。
- (2) ICT 機器などを活用し、自分や仲間の課題を考え、課題解決に向けて取り組めるように工夫する。

3 体力に関する状況

- (1) 1年生男子は新体力テストのすべての項目において全国平均を下回っている。特に持久走とボール投げ差が顕著である。
- (2) 1年女子は新体力テストの握力と長座体前屈以外のすべての項目において全国平均を下回っている。特に持久走においては差が顕著である。
- (3) 男女ともに全身持久力の向上が課題である。

4 教科の課題（新体力テスト：意識調査の結果より） ◎思う ○やや思う

- (1) 保健体育の授業は楽しいと思いますか。 (◎61.9 ○29.9) ◎+○=91.8
- (2) 保健体育の授業で、上手に体を動かして運動できるようになっている。 (◎47.5 ○38.1) ◎+○=85.6
- (3) あなたにとって運動やスポーツは大切ですか。 (◎77.0 ○18.4) ◎+○=95.4
 - ① (1)(2)の結果から、保健体育の授業を楽しんでいる生徒が多くいる中で、わかる、できるという実感や達成感を味わうことができている生徒も多くいる現状が読み取れる。
 - ② (3)の結果と新体力テストの結果から、運動やスポーツの大切さを理解している生徒が多くいる。しかし、日々の生活の中において、体力の向上を考え運動やスポーツの実践につなげられていないことが考えられる。

5 授業改善について

- (1) 授業規律の基本となる開始時の時間厳守や集合、整列、あいさつを整然と行う。
- (2) 運動に対する苦手意識を軽減させていくためにスモールステップで段階的な指導を行い、できるという肯定感を高めていく。
- (3) 一斉・ペア・グループ学習など学習内容に応じた学習形態をとることで、安全と運動量を確保し、より効率的に学習に取り組めるように工夫していく。
- (4) 学習カードを活用して、具体的に運動のポイントを整理していくことで、自身や仲間の課題を捉え、次の授業につなげていけるようにする。
- (5) 集団で学びあう中で運動の基本的なルールやマナーを身に付けるとともに、その中で楽しみ、できるようになった成功体験が味わえるような授業を展開する。
- (6) 保健分野では「心身の発達と心の健康」「健康な生活と病気の予防」を通じて、心身の発達とともに自らの健康や安全を管理する力を身に付ける。

6 成果の確認

- (1) 授業の取り組み状況や学習カードの自己評価などを基に確認する。
- (2) 後期の授業アンケート等の結果などを比較分析する。
- (3) 3学期の長距離走において全身持久力の向上を図り、結果と取り組みを分析する。

1 日常の学習状況について

- (1) 全体的に授業への参加状況は良く、体育委員を中心に集団行動や準備運動を行うなど日頃の授業から積極的に取り組んでいる。
- (2) 一般的に言われている、基礎体力の低下が課題である。
- (3) 授業中の前向きな発言がみられ、意欲的に授業に取り組み、学び合おうとする積極的な行動がみられる。
- (4) 単元によって、個々の運動能力や運動体験の差が顕著に表れる。

2 体力調査・アンケート等の結果を踏まえて

- (1) 基礎体力の向上。ラジオ体操や補強運動を正確に行い、柔軟性、筋パワーの強化を図る。
- (2) 授業のねらいをはっきりと提示し、目的意識をもって授業に取り組めるようにする。
- (3) 学習成果がよくわかるよう学習カードの活用や、クロームブックの効果的な活用をしていく。

3 体力に関する状況

- (1) 全体的に、保健体育学習への興味関心は高く、積極的な態度で臨むことができる。
- (2) 運動に参加する意欲は見られるが、基礎体力が伴っておらず、運動を継続させることに課題がある。
- (3) 運動や健康・安全に関する知識や、自己管理能力が徐々に身についてきている。
- (4) 仲間と共に協力して運動に取り組む姿勢が出来てきている。

4 教科の課題

- (1) 学習面
 - ①日常生活の中での体を動かして人と競いあう機会が減少してきている。これにより習い事で日頃からスポーツをしている生徒とそうでない生徒との間に運動体験の差がある。
 - ②運動や健康・安全に対する意識の定着を図り、基本的なルールやマナーを身に付ける。
 - ③単元に応じて、安全面に配慮し、ねらいに準拠した指導を行う。
- (2) 指導面
 - ①運動が「好き・得意」な生徒が「嫌い・不得意」な生徒がともに教え合い、学び合える環境をつくる。
 - ②集団行動を重んじると同時に、安全への配慮を意識した指導体制を整える。

5 授業改善について

- (1) 学習面
 - ①授業の開始時と終了時の集合、整列、あいさつを機敏に元気よく行う。
 - ②運動に対する苦手意識をなくすために、ラジオ体操や種目に合わせたウォーミングアップを取り入れ、基礎体力の向上と運動の基本的な技能の向上を目指す。
 - ③ペア・グループ学習の中で、クロームブックを活用し、運動の比較・考察を行い、理解を深められるようにする。また集団で学びあう中で運動の基本的なルールやマナーを身に付けるとともに、協力してできるようになった成功体験が味わえるような授業をする。
 - ④学習カードを活用して、体育学習における自身やグループの課題を見つけ課題解決のために努力や工夫ができるようにする。
 - ⑤保健分野では「健康な生活と病気の予防②」「傷害の防止」に重点に置き、生涯を通じて自他の健康や安全を管理する力を身に付ける。
- (2) 指導面
 - ①指導のねらいを明確にして授業を行い、一人一人の達成状況を授業観察や学習カードから教員が把握し、スモールステップで生徒が課題解決に主体的に取り組めるようにする。
 - ②ペア・グループ学習、体ほぐしの運動などを取り入れ、仲間と共に積極的に学び合える環境をつくる。
 - ③集団行動を徹底し、ケガの防止だけでなく仲間のことを気に掛け合いながら、質の高い学習ができるようにする。
 - ④補強運動とウォーミングアップの充実を図り、授業指示や準備を工夫し運動量を増やすよう努力する。

6 成果の確認

体力テストの結果を生かし総合的に体力をつけていく。

1 日常の学習状況について

- (2) 全体的に授業への参加状況は良く、体育委員を中心に集団行動や準備運動を行うなど日頃の授業から積極的に取り組んでいる。
- (2) 一般的に言われている、基礎体力の低下が課題である。
- (3) 授業中の前向きな発言がみられ、意欲的に授業に取り組み、学び合おうとする姿勢がみられる。
- (4) 単元によって、個々の運動能力や運動体験の差が顕著に表れている。

2 体力調査・アンケート等の結果を踏まえて

- (4) 基礎体力の向上。ラジオ体操や補強運動を正確に行い、柔軟性、筋パワーの強化を図る。
- (5) 授業のねらいをはっきりと提示し、目的意識をもって授業に取り組めるようにする。
- (6) 学習成果や学び合いの記録がよくわかるよう学習カードとクロームブックの効果的な活用をしていく。

3 体力に関する状況

- (1) 全体的に、保健体育学習への興味関心は高く、積極的な態度で臨むことができる。
- (2) 運動に参加する意欲は見られるが、基礎体力が伴っておらず、運動を継続させることに課題がある。
- (3) 運動や健康・安全に関する知識や、自己管理能力が身につけている。
- (4) 仲間と共に協力して運動に取り組む姿勢が出来てきている。

4 教科の課題

- (1) 学習面
 - ①日常生活の中での体を動かして人と競いあう機会が減少してきている。これにより習い事で日頃からスポーツをしている生徒とそうでない生徒との間に運動体験の差がある。
 - ②運動や健康・安全に対する意識の定着を図り、基本的なルールやマナーを身に付ける。
 - ③単元に応じて、安全面に配慮し、ねらいに準拠した指導を行う。
- (2) 指導面
 - ①運動が「好き・得意」な生徒が「嫌い・不得意」な生徒がともに教え合い、学び合える環境をつくる。
 - ②集団行動を重んじると同時に、安全への配慮を意識した指導体制を整える。

5 授業改善について

- (1) 学習面
 - ①授業の開始時と終了時の集合、整列、あいさつを機敏に元気よく行う。
 - ②運動に対する苦手意識をなくすために、種目に合わせたウォーミングアップを取り入れ、基礎体力の向上と運動の基本的な技能の向上を目指す。
 - ③ペア・グループ学習の中で、クロームブックを活用し、運動の比較・考察を行い、理解を深められるようにする。また集団で学びあう中で運動の基本的なルールやマナーを身に付けるとともに、協力してできるようになった成功体験が味わえるような授業をする。
 - ④学習カードを活用して、体育学習における自身やグループの課題を見つけ課題解決のために努力や工夫ができるようにする。
 - ⑤保健分野では「健康な生活と病気の予防③」「健康と環境」を学習し生涯を通して自他の健康や安全を管理する力を身につける。
- (2) 指導面
 - ①指導のねらいを明確にして授業を行い、一人一人の達成状況を授業観察や学習カードから教員が把握し、スモールステップで生徒が課題解決に主体的に取り組めるようにする。
 - ②ペア・グループ学習、体ほぐしの運動などを取り入れ、仲間と共に積極的に学び合える環境をつくる。
 - ③集団行動を徹底し、ケガの防止だけでなく仲間のことを気に掛け合いながら、質の高い学習ができるようにする。
 - ④補強運動とウォーミングアップの充実を図り、授業指示や準備を工夫し運動量を増やすよう努力する。

6 成果の確認

体力テストの結果を生かし総合的に体力をつけていく。